

令和3年度 地域協働事業(住みよいまち弥生)
実施報告書

社会福祉法人東久留米市社会福祉協議会
東久留米市地域福祉コーディネーター担当

令和4年3月31日

目 次

1 地域協働事業 実施の背景と目的	1
2 活動の内容	1
3 活動の成果	3
4 ふりかえり	3
5 別紙「目的・実現したいこと」をいつも忘れない一覧	4
6 令和3年度 地域協働事業 ふりかえりアンケート結果	5

【活動報告】

7 住みよいまち弥生 第1回 防災まち歩き 活動報告	13
8 住みよいまち弥生・東久留米市社協 協働イベント 参加者アンケート.....	17
9 住みよいまち弥生 ニュースレター 第1号～第6号	23

【資料】

10 住みよいまち弥生憲章	37
11 令和4年度 住みよいまち弥生 役員名簿	38
12 住みよいまち弥生会則	39
13 弥生地区地図	42

1 地域協働事業 実施の背景と目的

平成 28 年度より、東久留米市地域福祉コーディネーター事業における地域支援モデルを弥生一丁目・二丁目に選定し、定期的な集いを開催。誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、顔のみえる関係づくりの活動、災害時要援護者の支援検討をすすめた。

令和元年度から自主活動に向けた議論をすすめ、令和2年度に会の目的や活動内容を定めた会則が制定された。

令和3年度、「住みよいまち弥生」として自主活動をすすめるにあたり、組織的な課題として、役員間での連絡体制を確立すること、定期的な話し合いの場づくりに必要な考え方や具体的な準備、進め方を実践することがあった。また、これまでの話し合いで検討してきた地域防災に関する取り組みの具体化が課題としてあった。

社協としては、地域共生社会の考え方に基づいた活動の継続と発展をすすめることが主たる目的となることから、共通目的として憲章の制定をすすめることとした。また、住民主体の地域福祉活動について、その取り組みや成果が可視化され、皆で振り返り評価することを通じて改善につなげる仕組みづくりを一緒にすすめることとした。(10/4 付 地域協働事業助成金 49,500 円交付)

共通の目的:地域共生社会の考え方:住みよいまち弥生憲章を実践する。

共通の課題:継続的な集まりの開催、防災まち歩き等の活動を実施する。

私たちの取り組み、成果を見える化し、皆で評価して振り返る仕組みへ。

2 活動の内容

(1) 協働事業ミーティング 全7回各 90 分、ZOOM

代表、副代表、会計、書記の4役と社協担当との定期的な話し合い。定例会実施後の振り返り、次回定例会の協議内容の検討、ニュースレター掲載内容や発行日の検討を実施。社協にて日程調整、ミーティング進行、議事録作成を担う。振り返りと改善の仕組み、効果的な集まりの場(定例会、総会、防災まち歩き)となることを目指した。

【5/27(木) 7/30(金) 9/29(水) 11/2(火) 12/2(火) 1/31(月) 3/28(月)】

(2) 定例会、総会の開催 全6回 第三日曜日 午前 10 時～正午

役員や会員、市役所(防災防犯課)や関係機関との定期的な話し合い。コロナ禍で制限がある時には、ハイブリッド形式(会場とオンライン)で定例会を実施した。開催案内、次第作成、資料作成、会議進行は住みよいまち弥生による。社協は市担当課とのつなぎ、オブザーバーとして参加した。

【4/18(日) 6/20(日) 8/22(日) 10/17(日) 12/19(日) 2/20(日)】

(3) ニュースレター発行 第1～6号 各号 600部 全戸配布

掲載内容の検討、紙面作成、印刷、配布は住みよいまち弥生による。社協は記事内容の確認・修正、適宜カラー印刷機の貸し出しをした。

【4/22(木) 8/6(金) 10/1(金) 12/4(土) 2/5(土) 3/31(木)】

(4) 防災まち歩き・地図づくり 11/21(日)午前10時～正午 多摩の里けやき園

20人参加。ニュースレター掲載、プレスリリース作成・送付、準備・当日の運営、振り返り、活動報告書の作成は住みよいまち弥生による。社協は動画撮影をした。プレスリリースにより、当日の様子はJCOM「ジモト応援！つながるNews」、12/15発行タウン通信に掲載された。



防災まちあるき動画

(5) 氷川台自治会講話会 3/6(日)午前10時～11時半 社協会議室、ZOOM

16人(会場9人、オンライン7人)参加。氷川台自治会 林俊一会長により、安全・安心のまちづくりに関する様々な活動の紹介があった。協働イベントとしてニュースレター掲載、林会長との事前打ち合わせの参加、当日の会場設営・受付・司会、会の紹介、オンライン参加者の対応は住みよいまち弥生による。社協は林会長との調整、広報チラシの印刷、オンライン機器の準備、市生活文化課を通じて各自治会に対し公開動画の周知をした。



講話会動画

(6) 住みよいまち弥生憲章の制定 2/20(日)第1回臨時総会

社協にて案を作成し、6/20(日)第2回定例会において提案。地域共生社会の考えを礎とした役員・会員一人ひとりのあり方を明文化した憲章として第1回臨時総会で制定された。

(7) 街かど防災訓練 災害時要援護者世帯への支援 **未実施** →来年度に延期

対象世帯へのニーズ確認のため、地区民生委員と地域福祉コーディネーターによる面談を調整するも、新型コロナウイルス感染症拡大につき延期となった。

(8) ゆうちよ銀行 団体口座の開設 **未完了** →他の金融機関口座を検討

弥生地区内にゆうちよ銀行窓口があることから、口座開設をすすめるも銀行側が求める必要書類の内容(会則)に不備があったため、必要な要件を満たした会則を住みよいまち弥生と社協で作成。会則改定後に再度手続きすすめたところ、銀行側より口座開設は不可との回答があった。

(9) 令和3年度 地域協働事業ふりかえりアンケート

2/20(日)第1回臨時総会出席者11人(役員8人、会員3人)が回答。地域協働事業による成果や変化を測定・分析することにより、今後の活動に反映すべき点を関係者間で共有し、改善の意思決定に活かす。また、他地域にも活動を広げるにあたり、得られた知見を内外に紹介するために社協にて実施した。

3 活動の成果

- 組織的な課題であった役員間の連絡体制は、メールやLINEの活用により確立されたことにより、連絡や報告が取り交わされることになった。
- 定期的な話し合いの場づくりに必要な考え方や具体的な準備、進め方は、協働事業ミーティングにて振り返りを通じて気づいたことや改善策を共有し、次への改善を試みてきた。来年度以降も4役での事前の話し合いを継続するとのこと。
- 地域防災に関する具体的な取り組みは、コロナ禍において活動制限がある中、できることとして役員を主体とする防災まち歩き・地図づくりが実施できた。
- 住みよいまち弥生憲章は、臨時総会にて制定された。今後、憲章を共通の価値観として、皆で様々な活動を通じて輪を広げていくことが期待される。
- 取り組みの可視化は、ニュースレターの定期発行・全戸配布、防災まち歩きの活動報告書を作成した。ニュースレターをみてメール登録を希望する住民もあった。
- 皆で振り返り評価をし、改善につなげる仕組みは、協働事業ミーティングや防災まち歩き活動後のアンケート調査と共有など、定例会でも取り組まれた。

4 ふりかえり

住みよいまち弥生では、長引くコロナ禍の影響で活動が制限される中、「できることをやろう」と会場での集まり以外にハイブリッド形式でも話し合いを行った。

大人数での集まりを避けた防災まち歩き・地図づくりでは、「実際に歩いたことで非常時に役立つと思った」「ひとりでは歩けないところを歩くことができた」「新しい道路を見つけた」と満足度が高く、「新しい参加者があり喜ばしいことと感じた」(防災まち歩きアンケートから一部抜粋)と、イベントを経て新たな参加が増えた。

協働事業ふりかえりアンケート結果から、役員・会員の8割(82%)が「生活上の困りごとや気になることを共有し、解決に向けた話し合いができた」と回答している。また、自分たちの取り組みの可視化、振り返りによる改善の取り組みについては、9割以上が「できた」との回答があった。

住みよいまち弥生憲章は、「私たちが何を為していくかを言語化することで、皆の思いを一つにすることができる」、「住みよいまちにしていきたい気持ちが増す」、「時間や世代を超えて目標や目的意識を統一するものになっている」と、全員が今後役立つものになるとの回答があった。

さらに役員・会員として関わることで「つながりが感じられるようになった」、「地域の課題を前向きに捉えるようになった」との回答が最も多く、住みよいまち弥生への参画が、ポジティブな気持ちの変化をもたらしたことが明らかになった。

また、自立的で継続した運営において、会費や寄付など自己財源の確保が大切だが、住みよいまち弥生では「活動に応じて必要な費用を徴収することができる」(会則第8条「会費」)とし、助成金で賄えない来年度初頭の費用(ニュースレター発行費)は、役員・会員で話し合い、寄付を募り対応をすすめた。

今回の地域協働事業での実践知を礎に、「目的や実現したいこと」(別紙)を忘れず、楽しみながら様々な世代や分野を超えて顔の見える関係をひろげ、誰一人取り残さない住みよいまちがつくられていくことが期待される。

別紙 住みよいまち弥生「目的・実現したいこと」をいつも忘れない一覧

資源	活動内容 (手段)	取り組むこと (結果)	もたらしたい変化 (成果)	実現したいこと	目的
【人】 ・役員 10名 ・会員 20名 ・児童・生徒 5名 ・5つの自治会 【お金】 ・会費 ・寄付 ・協賛（自治会、企業） ・地域福祉活動補助金 ・財団助成金	①防災まち歩き 防災マップづくり ②街かど防災訓練 ③秋祭り・防災訓練	①実施2回 安全・危険な避難経路の確認 参加者数：5.0人 ②実施1回 対象世帯の緊急時避難経路の確 認・個別避難計画の作成 対象1世帯 ③実施1回 打ち合わせ4回 自助・共助訓練 参加者数：5.0人	・災害時要支援者が安心して避 難できる ★安心が増した（8割） ・防災意識が高まる ・子ども企画親子訓練で若年層 の参加が増える ・昔あそびで多世代交流が生ま れる ・バリアフリーイベントで障が い理解がすすむ ・同世代、異世代での顔見知り が増える ★大人、異世代との会話・交流 ができた（5割） ★顔見知りが増える（5割）	災害時に支援や配慮が必 要な人が安全・安心して 暮らしている 様々な差別や偏見を解消 し、誰もが孤立せず暮 らしている 困ったときに「助けて」 と言える人と人との関係 がある	弥生地区の 暮らしの困りごと を共有する
【モノ】 ・ビブス	④役員会（4人） ⑤定例会（9人+α） ⑥総会（15人）	④実施6回 参加者数：2.4人 ⑤実施6回 参加者数：6.0人 ⑥実施2回 参加者数：3.0人	・民主的かつ効率的な会議がで きる ・困りごとや気になることを抱 え込まなくなる ・実現したいことにつながる活 動を検討できる ・主体的な取り組み意識の高ま り、やりがいが増す ★活発に議論ができた（8割）	誰もがで できること で役割 をもち、 自分ら しく活躍 できている 関係機 関や行 政等と 協働 して課 題解決 ができる	生活課題の解決 に向けて話し合い、 できることに 取り組む 顔の見えて誰もが ひろげて誰も が住みよいまちづくり をすすめる
【場所】 ・多摩の里げやき園 地域交流スペース ・弥生台自治会集会所	⑦ニュースレター配布 ⑧メールニュース	⑦年6回 全戸60.0世帯 ⑧年6回以上登録者30人	・やさしい日本語で記事を作成 する。国際友好クラブと連携 ・理もれがちな情報を知らせる ★知って良かったこと、役立つ 情報がある（4割）	持続可能な活動により夢 や希望がもてる暮らしを 次世代に引き継ぐ 皆で助け合い、楽しみな がら活動している	
	⑩ふりかえりと改善	⑩PDCAサイクル1回	・活動を皆で評価できる ・成果を可視化できる ・次の活動の継続・改善に役立 てる	取り組みや成果が可視化 され、皆で評価をするこ とができる	

東久留米市社会福祉協議会

令和3年度 地域協働事業ふりかえりアンケート結果

- ・目的 地域協働事業による成果や変化を測定・分析することにより、今後の活動に反映すべき点を関係者間で共有し、改善の意思決定に活かす。また、他地域にも活動を広げるにあたり、得られた知見を内外に紹介する。

★ 住みよいまち弥生 と 東久留米市社協 は地域協働事業として、以下に取り組みました。

目的：地域共生社会の実現に向けての活動へ → 「住みよいまち弥生憲章」の制定

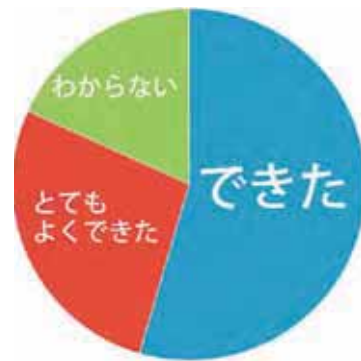
課題：継続的に集まりを開催する。防災まち歩き等を実施する。

取り組み成果を「見える化」し、皆で評価して振り返る仕組みをつくる。

- ・実施 令和4年2月20日（日）住みよいまち弥生 令和3年度 第1回臨時総会
- ・回答 11人（役員8人、会員3人）
（内訳）男性4人、女性7人（40代5人、60代4人、70代1人、80代1人）

(1) 生活上の困りごとや気になることを共有し、解決に向けた話し合いができましたか。

・とてもよくできた	3
・ <u>できた</u>	<u>6</u>
・わからない	2
・あまりできていない	0
・まったくできていない	0



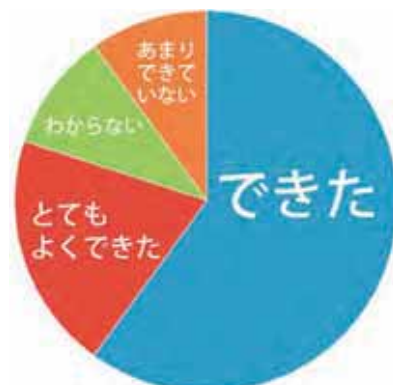
【自由記述】

- 小さなことでも意見として出してもらえたので、気づかなかったことに気づくことができた。
- 弥生の地理がだんだんわかって来た。

82%が「とてもよくできた」、「できた」と感じている。一方「わからない」との回答が2件(18%)ある。引き続き、参加者誰もが取り残されず、思いや気づきを共有することができる場が求められる。

(2) 皆で協力しながら 無理なく できること に取り組みましたか。

・とてもよくできた	2
・ <u>できた</u>	<u>6</u>
・わからない	1
・あまりできていない	1
・まったくできていない	0
・未回答	1



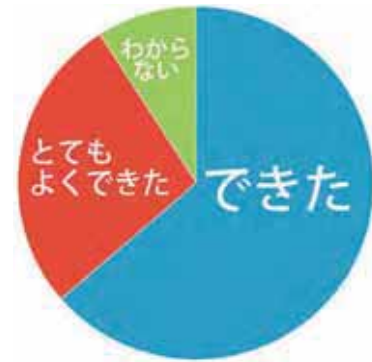
【自由記述】

○協力の部分で、できる人が行うことを一番に考えたので無理はなかったと思う。

73%が「とてもよくできた」、「できた」と感じている。一方「わからない」「あまりできていない」との回答が2件(18%)、未回答が1件(9%)ある。参加した一人ひとりが、無理なくできることで運営にかかわれるように話し合いと役割分担が引き続き求められる。

(3) 自分たちの取り組み（あいさつ隊、防災まち歩き・地図づくり、ニュースレター発行など）を見える化し、自分たちで評価、今後の改善に向けて取り組むことができましたか。

・とてもよくできた	3
・できた	7
・わからない	1
・あまりできていない	0
・まったくできていない	0



【自由記述】

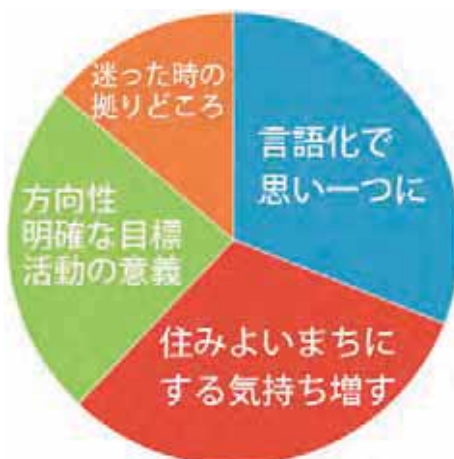
○情報発信を密に行ってきたと思う。地域にこの会の活動が浸透するように努力してきたが、まだこれからだと思う。

○防災まち歩き第1回は参加しました。とても良かったです。年2~3回、違う時期を考えてほしい。

90%以上が「とてもよくできた」、「できた」と感じている。一方「わからない」との回答が1件ある。一つの質問文で二つのこと（見える化と評価・改善のこと）を問っており焦点が定まっていないことも影響していると思われる。

(4) 住みよいまち弥生憲章は、今後どのように役立つと思いますか。（複数選択可）

・実現すべきよいこと、取り組みの方向性や明確な目標、活動の意義を見出せる	7
・私たちが何を為していくかを言語化することで、皆の思いを一つにすることができる	9
・弥生地区を住みよいまちにしていきたい気持ちが増す	9
・会員及び役員としての行動や考え方など、判断に迷った時の拠りどころになる	4
・特に役立つことはない	0



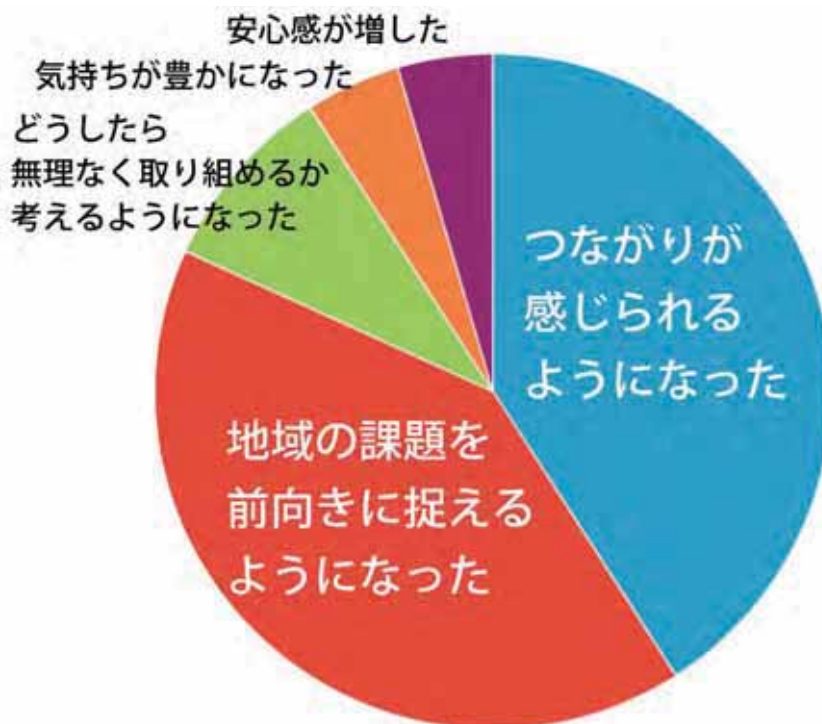
【自由記述】

○憲章は内容がとても素晴らしく、時間や世代を越えて目標や目的意識を統一するものになっていると思う。

「特に役立つことはない」は0件と、全員が憲章は何らかの役に立つと回答している。「言語化で思いを一つにすること」や「住みよいまちにする気持ちが増す」といった回答が最も多い。

(5) 役員として関わる前と現在を比較して、気持ちの変化がありましたか。(複数選択可)

・ 気持ちが豊かになった	1
・ つながりが感じられるようになった	9
・ 安心感が増した	1
・ 孤独感が減った	0
・ 地域の課題を前向きに捉えるようになった	9
・ どうしたら無理なく取り組めるか考えるようになった	2
・ 特に変化はない	0



【自由記述】

○様々に力を持っている人がいることを知った。補い合いながら進めることができた。

「特に変化はない」は0件と全員が気持ちの変化があったと回答している。「つながりが感じられるようになった」、「地域の課題を前向きに捉えるようになった」との回答が最も多い。また、「どうしたら無理なく取り組めるか」の考えの変化2件、「安心感が増した」「気持ちが豊かになった」が各1件ある。役員として関わるのが、ポジティブな気持ちの変化につながっている。

(6) 役員として関わり、よかったことを選択してください（複数選択可）

- ・地域の一員になったと感じた 3
- ・以前より近所と関わりが増えた 6
- ・行事に参加ができた 8
- ・災害時の安心材料ができた 6
- ・必要な情報を得ることができた 6
- ・特によかったことはない 0



「特によかったことはない」は0件と全員が良かったことを回答している。「行事に参加ができた」が最も多く、次に「必要な情報を得ることができた」「災害時の安心材料ができた」と、防災イベントへの参加を通じて得られたと思われる回答があった。

(7) 役員として関わり、不満に思うことを選択してください（複数選択可）

- ・定例会の参加が面倒である 0
- ・行事の参加が面倒である 0
- ・合意形成に不満をもっている 0
- ・特に不満に思うことはない 8
- ・未回答 3



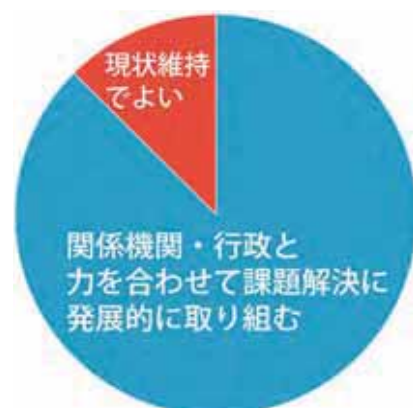
【自由記述】

○地域の住民との関係がより深くなった。

「特に不満に思うことはない」は8件ある一方、「未回答」が3件あることから、どちらともいえない思いもあるのかと思われる。

(8) 住みよいまち弥生は、どのようになつたらよいと思いますか

- ・関係機関や行政と相互に力を合わせて、課題の解決に向けて発展的に取り組む 7
- ・現状維持でよい 1
- ・様々な取り組みは可能な限り公的機関が実施し、自分たちの活動は減らす 0
- ・わからない 0
- ・未回答 3



【自由記述】

- 地域のことは地域で課題解決し、行政のすべきことへの提言もしていけたら良い。
- 取り組まないのなら、何の意味もないですよ。活性化していきたい！
- 役員の方々はガンバっていらっしゃると思いますが、もっともっと、皆様を巻き込んで暮らしに役立って、多くの方々が参加できると楽しくなるのでは？
- 地域に問題があるか、明確にわからない。
- たくさんの方が参加して、広まってくれたら良いです。
- いつか、発展的解消をすることがゴールと考えています。ご近所さん同士の助け合いや防災意識が定着し、住みまち弥生が動かずとも、同様の活動が至る所で行われるような、誰が誰を頼っても大丈夫な地域になればと思います。

「関係機関や行政と相互に力を合わせて、課題の解決に向けて発展的に取り組む」との回答は7件(64%)、「現状維持でよい」は1件、「未回答」は3件(27%)ある。選択肢にあてはまらない内容を含めて、多数の自由記述の回答がある。

(9) 1年間を振り返っての感想

- 今年度は防災まち歩きであったが、何かのイベントを企画することでまとまりができる。達成感を持つことができた。地域の仕組みや行政の部署とのつながりを知ることができ、視野が広がった。
- もう少し沢山の方に参加してほしい。
- 役員の方々が良く動いて下さってとてもたのもしいです。今後ともよろしく願いいたします。
- 途中参加でしたが、新しい取り組みが皆様に浸透して発展できれば良いなあと感じました。
- 地域を知ることが出来た。特に1丁目、自分の町内。
- 地域とどのようにかかわって行くのがよりベターなのか なかなかわからない。
- 子ども達を含め、年1回は皆で懇談会等を計画し、実行したい。
- 日曜開催でなかなか参加できませんが、無理ない感じで参加できるといいと思います。
- 途中から参加させて頂くようになり、個人的には、すみまち弥生の様々な活動について理解が深まり、必要性を感じるようになりました。参加させていただきありがとうございました。

以上

令和4(2022)年3月31日 作成/東久留米市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター事業担当

【活動報告】

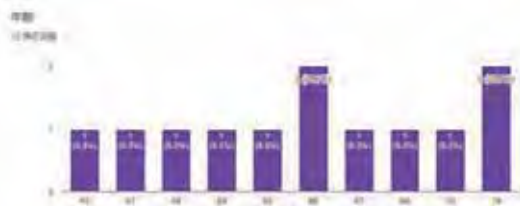
地域協働事業 住みよいまち弥生
第1回 防災まち歩き 活動報告

- 1 目的 地震や災害時に避難する場所を実際に歩いて確認する
- 2 主催 住みよいまち弥生（地域協働事業：東久留米市社会福祉協議会）
- 3 日時 令和3年11月21日（日）午前10時～12時
- 4 会場 社会福祉法人園盛会 多摩の里けやき園 地域交流スペース
- 5 参加者 21名〔住民14名、関係機関（市防災防犯課、けやき園、社協）6名、JCOM取材1名〕
- 6 内容
 - (1) けやき園に集合し小平市立6中までのコースを2グループに分かれて歩く
 - (2) 途中、危険な場所、消火器、公衆電話等確認項目を地図に書き込む
 - (3) 11時に再集合し、2枚の拡大した地図に確認した事項を書き込む
 - (4) グループごとに歩いて発見したことや危険と感じたこと等を発表し、全員で情報の共有をする
 - (5) 事前に歩いた11小コースの発表
 - (6) 参加者アンケートをとり、感想等の収集および次回実施時の参考にする
- 7 協議・準備（会場：多摩の里けやき園 地域交流スペース、社協会議室、オンライン）

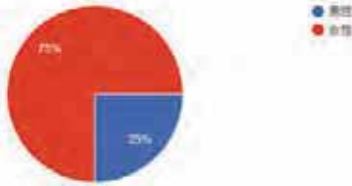
会合	日時	人数	防災まち歩きの議題
第1回定例会	4月18日（日） 午前10時～正午	19名	地域防災活動（防災まち歩き等）の提案
第1回役員 ミーティング	5月27日（木） 午後3時～4時	4名	定例会振り返り・地域協働事業について 防災まちあるきの目的について
第2回定例会	6月20日（日） 午前10時～正午	16名	地域協働事業の説明と助成金申請 防災まち歩き予算案
第2回役員 ミーティング	7月30日（金） 午後1時半～2時半	4名	防災まち歩き実施詳細について
第3回定例会	8月22日（日） ハイブリッド	7名	目的の確認・実施方法・内容について検討 開催日の決定
第3回役員 ミーティング	9月29日（水） 午後1時半～3時	5名	実施手順・方法・準備するもの検討 関係機関および各自治会への連絡について
第4回定例会	10月17日（日） 午前10時～正午	16名	実施要領の手順の説明および確認 共通理解
第4回役員 ミーティング	12月2日（木） 午後1時半～3時	4名	実施後のふりかえり 活動報告及びアンケート結果報告について

- 8 ニュースレターの発行 第1号4月20日：第2号8月6日：第3号10月1日：第4号12月4日
- 9 役割分担 会長：山口信夫 書記・記録：瀧田寿美恵 会計・ニュースレター作成：沖原寧子
当日受付：加藤京子 当日会場準備：沖原、加藤
- 10 費用 21,514円

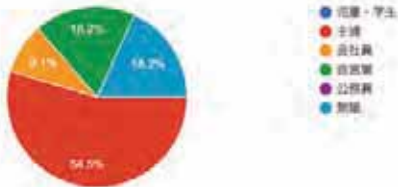
内訳：コロナ関連（体温計・消毒）3,767円 事務用品（筆記用具・名札・紙・印刷）2,956円
ビブス 13,900円 お茶 891円



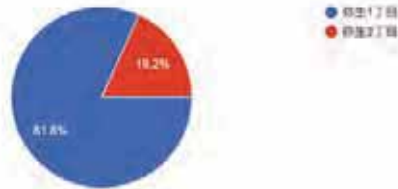
性別
13件の回答



職業
11件の回答



お住まい
17件の回答



自治会
11件の回答



実施時間はいかがでしたか（10時から12時）
14件の回答



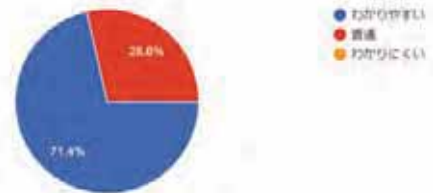
今回は天候もよく、気温も丁度よくと良かったと思う

目的地往復の所要時間（1時間）はいかがでしたか
13件の回答



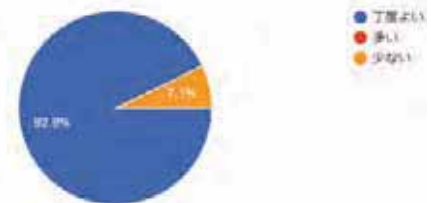
通常歩行で15～20分で行ける
ゆっくりとじっくりと確かめながら歩くことができた

コースはわかりやすかったですか
14件の回答



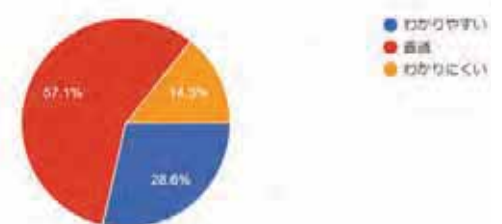
知っている人がいると歩けるルートと思った

同行した人数はいかがでしたか
14件の回答



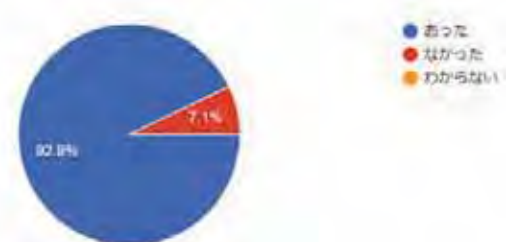
丁度よいと思う、確認しながら歩くのである程度人数は必要
今回は6, 7名移動だったので安全だったと思う

地図はわかりやすかったですか
14件の回答



道がなくなるところの表示を確かめることはできなかった
書き込みスペースがあるとよいかもしいです

新しい発見（チェックしたこと）はありましたか
14件の回答



はじめて通る道路が2-3ありよかった

初めて通った道もあり参考になった

小平と2丁目で消火器がわからなかった

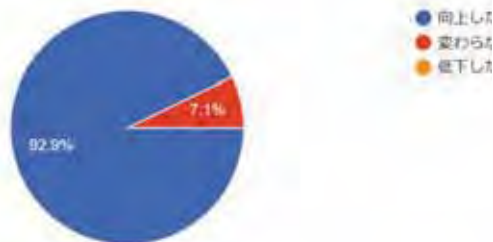
11小の北門

狭い道が多かった

当たり前に入っていた道の狭さ、ブロックの危なさなどに気づけた

ご自身の防災意識は変わりましたか

14件の回答



新しい道筋を知った
 今後、集会所と市は防災を考えたながら注意しよ
 防災の観点でまちを見る気持ちが増えた
 井上さんからのコメントで最終的には自宅で防災に過ごせること、地域で安否確認をしたり助け合ったりが重要ということがよくわかった

参加しての感想、ご意見、改善すると良いことなどお書きください。

5件の回答

早いですが通れない道路が多数あった。行かれないと思っていた道が通り抜けられるとの情報も聞かれた。

多くの人が参加する様子がいいかと思いました。

どのくらい時間がかかるか始めに確認しておけなかったのが心配でした。

とてもいい活動に参加させていただきありがとうございます。参加することに前向きな気持ちはあるが、心理的なハードルが高くて参加できない。参加するとよかったと思うと考える人が多いのではと思いました。

住みまちのスタッフや今までの参加者だけでなく、新しい参加者があり喜ばしいことと感じた

避難所へ歩いてよかったですか

13件の回答



ひとりでは歩けないところを歩けた
 六中の正門前に災害時に役立つ情報が掲示してあった
 くわしく自分の目で見る事ができた
 実際に歩いたことにより、非常時に役立つと思いました。
 六中コースだったが、正門はわからなかったのがよかった

市境越え防災町歩き

東久留米・弥生地区で初開催

意識向上、そして共生へ

災害時を想定して小平地域を歩く
東久留米市弥生地区の住人たち

災害時に行政区を気にしている「ママはない——よう」と企画されたのが東久留米市弥生地区の住人約20人が参加し、先月21日、「防災まち歩き」が実施された。

同市の南部市境にある弥生地区は、煙突のように飛び出していて、周囲を小平市に囲まれているという場所。災害時の指定避難場所となっている学区内の第九小より、小平第十一小、小平第六中のほうが近く、さらに、第九小に行くには新青梅街道を越えなければならぬ。そうした事情から、「災害時には、小平の小学校を頼るほうが現実的」の声は以前からあった。

「そこで、「一度歩いてみる」と企画されたのが今回。当日は「密」を避けるため2コースに分かれ、約40分をかけて周辺を確認した。なお、多くは「今度も継続して防災まち歩きを続けたい」という声が続出した。今後は継続して防災まち歩きを続けたいという声が続出した。今後は継続して防災まち歩きを続けたいという声が続出した。

2021年12月15日 タウン通信（新聞折込9万部）

まち歩きの記事が掲載されました！

東久留米市 弥生地区住民による「住みよいまち弥生」 防災まち歩きに初挑戦します！

高齢化率32%超、新たな戸建住宅が建ち、外国人を含む新規住民も増えてきた東久留米市弥生地区。何かあったら私たちどこへ避難したらいいの？と不安の声をあげたのは、弥生に昔から住んでいるまちの方でした。同地区は、新青梅街道という大きな道路を挟んで、南にごぼう状に伸びる地域です。市南端の家から**指定避難所の小学校までは約2キロ**、災害時は緊急輸送道路となる同街道の横断を含みます。**隣市の小平市立第十一小学校、同市立第六中学校も避難所として指定されていますが、馴染みがありません。**「住みよいまち弥生」はそんな声を受け、防災まち歩きに挑戦します。地図はどれを使う？確認するポイントは？ビブス作っちゃう？全て話し合いで決めてきました。まち歩きの総まとめは、まち歩きに行けない方にも届くよう、ニュースレターにして全世帯に配布します。



「住みよいまち弥生」は、弥生地区住民による、誰もが住みよいまちづくりを目指し活動している市民団体です。平成28年より偶数月の第3日曜日に、東久留米市社会福祉協議会、市防災防犯課、地域包括支援センター職員をお迎えし、同地区の社会福祉法人園盛会 多摩の里けやき園の地域交流スペースを借用して、定例会を行ってきました。令和3年4月には、社協主催から自主活動に切り替え、地域協働事業としての活動をスタートしています。

えし、同地区の社会福祉法人園盛会 多摩の里けやき園の地域交流スペースを借用して、定例会を行ってきました。令和3年4月には、社協主催から自主活動に切り替え、地域協働事業としての活動をスタートしています。

■ やってみよう「防災まち歩き」詳細

【対象】 弥生地区または近隣にお住まいの方（参加無料）

【日時】 11月21日（日）10時 集合

10時～11時 まち歩き（今回は、小平市立第十一小学校、同市立第六中学校の2コース）

11時～12時 防災マップづくり

【会場】 社会福祉法人園盛会 多摩の里けやき園の地域交流スペース（弥生2-1-18）

■ 東久留米市 弥生地区（655世帯1,437人）の詳細（統計 東久留米 令和元年版より）

- ・ 弥生一丁目 480世帯1,047人（高齢化率33.1%）
- ・ 弥生二丁目 175世帯 390人（高齢化率31.8%）
- ・ 高齢化率が市内で5番目に高い。
- ・ 新旧の住民が混在しており、子育て世帯や高齢者同士の交流も活発でないことから、つながりづくりの働きかけが必要。

■ 本状に関する問い合わせ

住みよいまち弥生（担当：沖原）〒203-0034 東京都東久留米市弥生2-4-34

電話：090-3202-2525

Email: dejiyasu@gmail.com

住みよいまち弥生・東久留米市社会福祉協議会 協働イベント
「地域の安心・安全・つながりづくりをひろげるヒント」
参加者アンケート 結果

【日時】 令和4年3月6日（日）午前10時から11時半

【場所】 東久留米市社会福祉協議会 会議室・ZOOMオンライン

【講話】 氷川台自治会 会長 林 俊一 氏

【参加】 16人（会場9人、オンライン7人）

【主催】 住みよいまち弥生、東久留米市社会福祉協議会

1. あなたのことを教えてください

回答 13人 (81.3%)

内訳：男性4人、女性9人（40代6人・60代5人・80代3人）

2. 本日の感想をお聞かせください

- 氷川台自治会の取り組みや、歴史がスライドにまとめられ、とてもよく理解できました。その活動をヒントに取り組み方を工夫していきたいと思いました。
- コロナ禍でもできる取り組みを探し、積極的に活動を続けられていて素晴らしいと思いました。
- 一つでもいいから何か活動しようと思った。
- ただおどろくだけ。
- 大きな自治会さんの事例なので、出来そうもない事もありますが、参加者の増やし方や、イベントをする事による認知のされ方等参考にさせていただきます。
- しっかりした組織作りが素晴らしいです。自治会というワクを超えて、参加してくれる方々を増やす方法を考えたいと思います。
- 多種多様で人が集うつながりが自然と生まれるような企画が多く、誘い合ってそれぞれの力が合わさった地域づくりがされていることがよくわかった。とても貴重なお話でした。ありがとうございました。
- 自治会のたくさんの方に本当に感心しました。ありがとうございました。
- 活動内容の多さにおどろきました。参考になる事が聞けて良かったと思います。
- 普通の活動報告でした。
- 多岐にわたり素晴らしい活動を実施されており、びっくり致しました。
- 良かったです。
- 沢山の事例でよくわかりました。

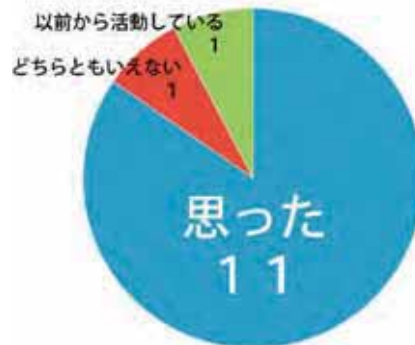
3. 講話の内容はいかがでしたか

・ <u>分かりやすかった</u>	11
・ 普通	2
・ 難しかった	0
・ その他	0



4. 地域づくりのために できることから何か取り組みを始めようと思いましたが

・ <u>思った</u>	11
・ どちらともいえない	1
・ 思わなかった	0
・ 以前から活動している	1
・ その他	0



5. 今日の講演会は、何を見て知りましたか

・ <u>ニュースレター</u>	8
・ 自治会回覧やお知らせ	3
・ 近所の人から聞いた	0
・ その他（市や社協からのメール）	4



6. 今回参加した理由は何ですか。全てに○をつけてください

・ <u>先進的な取り組みの情報収集</u>	8
・ 地域でできそうなことから取り組むため	7
・ 近所や自治会から推奨された	1
・ その他（地域活動を始めるため）	2



7. 暮らしの中で気になっていること、困っていること、解決したいことがありましたら ご記入ください

- 公園の雑草を取ってもらいたい。公園をきれいにしてもらいたい。
- 老夫婦二人生活で会話が少なくなり、言葉を忘れてしまう。
- ご近所でさえ、しゃべらない方がいる状態をなくしていきたい。
- 男性の参加者が増えると良いと思うのですが、出て来てくれない。
- 若い方の自治会加入が少ないのでどうにか解決したい。
- 交流が少なくなっている。
- 独居高齢者の見守り・孤独死対策

以上

令和4年2月24日(木)

住みよいまち弥生・東久留米市社会福祉協議会 協働イベント
講話「安全・安心のまちづくりをすすめるヒント」企画書

背景 平成28年度より、東久留米市地域福祉コーディネーター事業における地域支援モデルを弥生一丁目・二丁目を選定し、定期的な集いの開催。誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、顔のみえる関係づくりの活動、災害時要援護者の支援検討などをすすめてきた。また令和元年度より、自主的活動に向けた議論をすすめ、令和2年度において世話人、会計、書記など役員と会則を定めた。また、令和3年11月21(日)には地区で初となる「防災まち歩き・地図づくり」を実施した。

目的 「住みよいまち弥生」として自主運営するにあたり、先進的なまちづくりをすすめる氷川台自治会の組織(仲間)づくり、活動の継続と発展に至った経過について講話いただき、発展的な活動への参考とする。

日時 令和4年3月6日(日)午前10時から11時半(90分/質疑応答含む)

場所 わくわく健康プラザ 2階 社協会議室(滝山 4-3-14)

題名 「地域の安心・安全・つながりづくりを広げるヒント」

講話 氷川台自治会 会長 林 俊一 氏

対象 弥生地区住民 30名 ZOOMミーティング 100名

内容 「安全・安心で暮らせるまちづくり」をすすめるために、自治会としての組織強化や各種事業を活用した社会資源(ヒト・モノ・カネ・情報・ネットワーク)について

**例) 参画者を増やすためにしたこと、必要なモノや資金の集め方
生活上の困りごとの把握をどのようにしているか など。**

謝金 9,000円(税込)

備考 当日講話を撮影し、録画映像は本会公式Youtubeチャンネルにて公開する。

(連絡先)社会福祉法人東久留米市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター 江連
〒203-0033 東京都東久留米市滝山 4-3-14 わくわく健康プラザ 2階
TEL 042-475-0739

地域の安心・安全・つながりづくり をひろげるヒント（講話会）

氷川台自治会は、子どもから高齢者までの幅広い層が「つながる場」を提供し、空き家を農園として活用する地域活性化策などが評価され、平成30年11月「あしたのまち・くらしづくり活動賞」（最高賞の内閣総理大臣賞）を受賞されました。どのようにして主体的な組織をつくり、活動の継続と発展をすすめてきたのか、たくさんの活動のヒントをお話いただきます。



恒例の「もちつき」大会に集う老若男女。トン汁やポップコーンもふるまわれ、参加者は200人を超える



空き家農園での「じゃがいも掘り」



子育てサロンでの紙芝居



障がい者とともに沿道を彩る花植え

日時

令和4年3月6日(日)午前10時～11時半(受付:9時半から)

場所

多摩の里 けやき園 地域交流スペース(弥生2-1-18) (※1)及び
ZOOM インターネットミーティング (※2)

※1 会場参加は「弥生地区にお住まいの方」を優先とさせていただきます。

※2 インターネットでのリモートセミナーです。参加にはネット環境のあるスマートフォンやタブレット、パソコンが必要です。またメールとホームページが利用できれば参加可能です。

講師

氷川台自治会 会長 林 俊一 氏

定員

30名 申込締切:3/2(水)【申込フォーム・メール・電話・FAX】

参加費

無料 持ち物 マスク着用・上履き(スリッパ等)

※ 新型コロナウイルス感染症の流行状況により、やむを得ず延期・中止にさせていただくことがあります。

申し込み
連絡先

東久留米市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター
東久留米市滝山4-3-14 わくわく健康プラザ2階 ボランティアセンター
電話 042-475-0739 FAX 042-476-4545
Mail csw@higashikurume-shakyo.or.jp



専用申込フォーム

〈地域福祉コーディネーター事業〉

令和3（2021）年12月1日発行 第215号
ひがしくるめ社協だより 3面記事

報告

「誰もが住みよいまちをつくる“仕組みづくり”のお手伝い

「住みよいまち弥生」との地域協働事業

今年度から自主運営で暮らしの課題解決をすすめる「住みよいまち弥生」（通称「住みよいまち弥生」と社協は、地域協働事業^(※1)により、地区全戸へのニュースレター配布や防災まち歩き・防災マップづくりなど、発展的な活動へと広がっています。



自治会役員、住民有志、車いす利用者、市防災防犯課も参加。近隣の他市避難所への経路の点検について話し合う



協働での取り組みにあたり、両方で共有した目的は、様々な差別や偏見を解消して孤立しない地域をつくること。誰もがができることで役割をもち、いつまでも自分らしく活躍ができる場をつくることなど、地域共生社会^(※2)の考え方に基づいています。

社協では、発展的な話し合いの場となるように世話人3役らと定期ミーティングを開催。市や関係

機関とのつなぎの他、取り組みや成果が見える化され、皆で評価することができる仕組みづくりをお手伝いしています。

引き続き、一人ひとりが主体的な立場で生活上の課題を捉え、行政や関係機関と連携しながら解決に向けて取り組み、他の地域にも「住みよいまち」を広げる予定です。地域づくりに関する困りごとや悩みもお気軽にご連絡ください。

（※1）地域協働事業とは

非営利団体と社協が目的や目標を共有し、役割分担を取り決め、対等な立場ですすめる福祉活動に助成金を交付する事業。詳しくはボランティアセンターまで。



社協HP地域協働事業

（※2）地域共生社会とは

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。（厚生労働省 地域共生社会のポータルサイトより）



ちよつと気になる 身近な困りごとは**地域福祉コーディネーター**へ

〈連絡先・問い合わせ〉

市地域福祉コーディネーター（社会福祉協議会
ボランティアセンター）

※市受託事業として西部地域（小金井街道西側の地域）に担当職員1名を配置しています。

☎ 042-475-0739

☎ 042-476-4545

『住みよいまち弥生』 ニュースレター

第1号

令和3年4月22日発行

代表世話人 山口信夫

042(458)0875

住みまち弥生
はじまりました！

前回の話題

何かあったらどこに避難するの？
⇒一回実際に歩いてみましょうか、
リュック背負って遠足いきましょう！

近所の子に挨拶をしたら不審者扱いされる！
⇒あいさつ隊のカードを作りま
しょう！防災防犯課からベスト借
りられるみたい！

などなど…

弥生のみなさま、こんにちは！
平成28年から東久留米市社会福祉協
議会主催で行われていた『住みよいまち
づくりに向けた集い』は、今期より
『住みよいまち弥生』に名称を改め、
社協主体ではなく、自主活動に変わ
りました！これから、みなさまと
ともに作っていく新しい会です。
どしどしご参加ください。

会則抜粋

- ・生活の困りごとは共有しよう
- ・避難のときに助けが必要な人を把握しよう
- ・無理のない範囲でやろう
- ・顔の見える関係を広げよう

あいさつが飛び交い、困った
ことがあれば玄関先で叫べば
誰かが助けてくれる。
住んでいる自分たちで
そんなまちにしませんか。

一緒に活動してくれる
仲間を募集しています！

一昨年の
秋まつりの
様子↓

覗きにくる
だけでもOK

次回の集い

令和3年

6月20日(日)

午前10時～

多摩の里 けやき園

地域交流スペース

(弥生2-1-18)

内容：結局この地域の人
はどこに避難するの？他

地域のこと
楽しくおしゃべりしましょう

『住みよいまち弥生』 ニュースレター

第2号

令和3年8月6日発行
代表世話人 山口信夫
042(458)0875

11月にまち歩き
をやりましょう！

前回(6/20)

何かあったらどこに避難するの？

⇒(市防災防犯課井上主査より)
まず、安全な場所に逃げてくださ
い。命を守る行動をすること。避
難所は一番行きやすい場所に行け
ます。**小平十一小も六中も避難で
きます。**避難生活が長引く場合に、
市内の指定避難所(第九小)に移
る場合があります。

助成金申請について

⇒東久留米市社会福祉協議会との
地域協働事業として助成金を申請
します。ニュースレターの紙や印
刷、コロナ関連の備品購入などに
使います。

参加者11名

弥生のみなさま、こんにちは！
6月20日に行われた『住みよいまち
弥生』定例会でお話したことと、次回
の話題についてお知らせします。住ん
でいる街のこと、みんなで共有しま
しょう♪

次回(8/22)

防災まち歩きの詳細決め

⇒11月に、実際に弥生をみんなで
歩いてみましょう。避難所への距
離や通る道によってグループ分け
するか、押さえるべきチェックポ
イントを何にするかなど、内容の
詳細ついて決める予定です。ご要
望をどしどしお寄せください。

メールアドレスつくりました！

sumimachiyayoi@gmail.com



↑メールをいただいた方には、
住みまち弥生のご案内を
メールでもお送りします。

次回の集いは会場参加、オンライン参加、どちらもOK

緊急事態宣言中につき、オンラインで参加しましょう。

令和3年
8月22日(日)10時～

多摩の里けやき園
地域交流スペース
(弥生2-1-18)

ミーティングID: 819 418 6844
パスコード: 2525

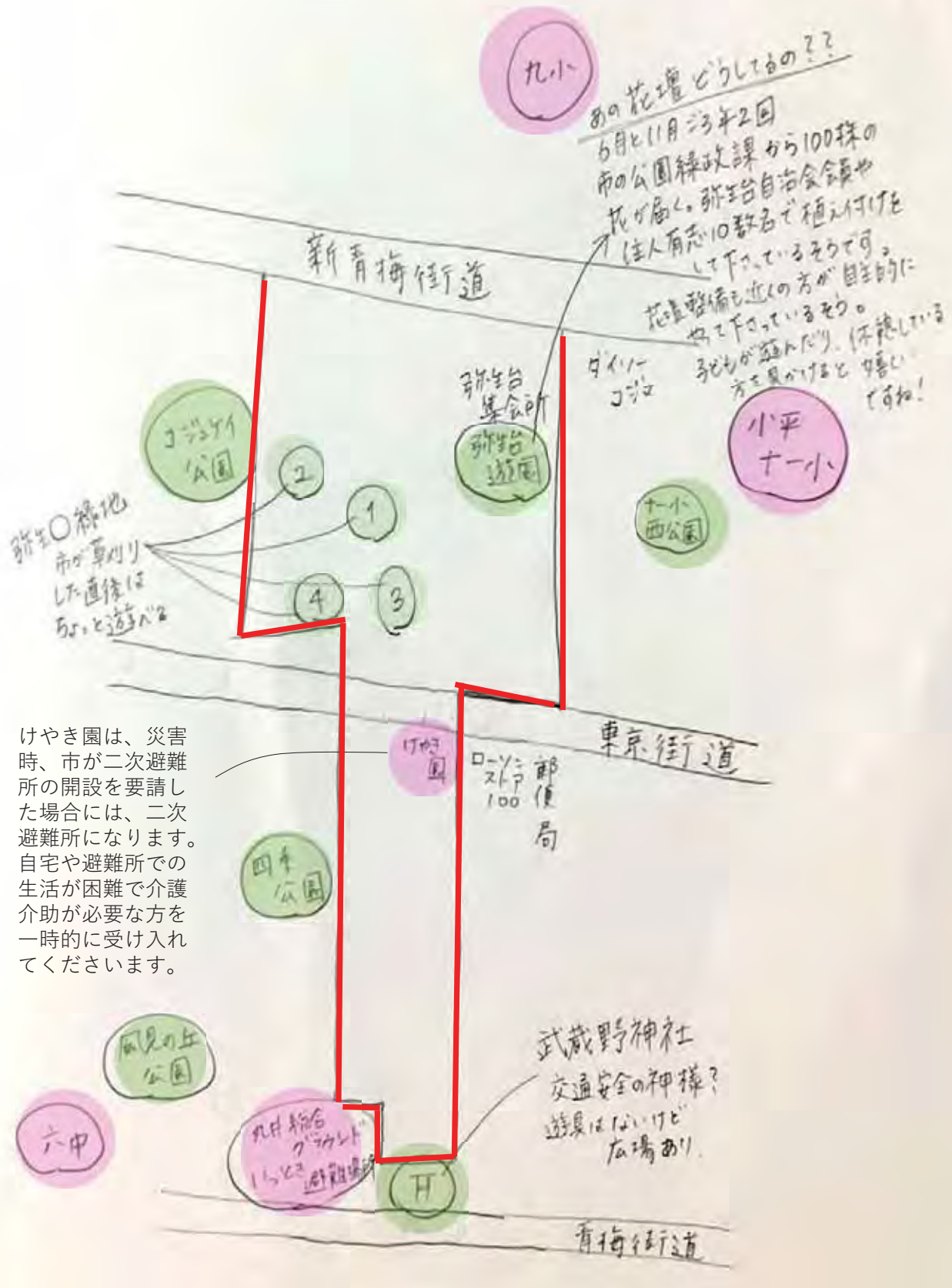
挑戦してみたいけど訳がわからんという方、
沖原(090-3202-2525)までご連絡ください。
※沖原はじいちゃんばあちゃんのオンライ
ンの先生をしています。

※zoom練習会(無料)8月15日(日)10時からやります。



ニュースレターは令和3年度地域協働事業助成金を活用して発行しています。

弥生周辺のみどりマップ



けやき園は、災害時、市が二次避難所の開設を要請した場合には、二次避難所になります。自宅や避難所での生活が困難で介護介助が必要な方を一時的に受け入れてくださいます。

ニュースレターは令和3年度地域協働事業助成金を活用して発行しています。

『住みよいまち弥生』 ニュースレター

第3号

令和3年10月1日発行

代表世話人 山口信夫

042(458)0875

避難所まで 行けますか!?

前回(8/22)

何かあったらどこに避難するの？

⇒東久留米九小、小平十一小、六中。けやき園は、災害時、市が二次避難所の要請をした場合には、介護介助が必要な方を一時的に受け入れてくださいます。もしものとき、どこに向かってどの道で行きますか？その道は災害時も同じように通れるでしょうか。まち歩きのポイントは、いざという時を想像しながら歩くことだそうです。ちょっとした広い場所、公衆電話など、地図に書き込むためのチェックリストを用意し、それぞれが書きこんだものを持ち寄ろうとなりました。(参加者8名)

弥生防災まち歩き

⇒11月21日(日)に決定

弥生のみなさま、こんにちは！
8月22日に行われた『住みよいまち弥生』定例会でお話したことを共有します♪

次回(10/17)

11月21日の防災まち歩きの 説明会を行います

⇒今回は感染症予防の観点から、そろそろ歩くのではなく、それぞれが好きな時間に歩き、事前にお配りした地図に、避難ルートや、注意が必要な場所を書きこんでいただき、それを持ち寄る形でやってみたいと思います。10月17日に、説明会を行います。

メールアドレスつくりました！

sumimachiyayoi@gmail.com



↑メールをいただいた方には、住みまち弥生のご案内をメールでもお送りします。

次回の集い

令和3年

10月17日(日)10時～

多摩の里 けやき園
地域交流スペース
(弥生2-1-18)

弥生防災まち歩き

令和3年

11月21日(日)10時～

10時 けやき園地図配布

10時～11時 まち歩き

11時 けやき園地図持ち寄り

ニュースレターは令和3年度地域協働事業助成金を活用して発行しています。

この地図をもとに 防災マップをつくります

当日はこれを拡大して配布します



ニュースレターは令和3年度地域協働事業助成金を活用して発行しています。

『住みよいまち弥生』 ニュースレター

第4号

令和3年12月6日発行

代表世話人 山口信夫

042(458)0875

初回防災まち歩き 盛り上がりました！

まち歩き(11/21)

東久留米九小に避難することが困難であれば、小平十一小、六中にも避難できます。けやき園は、災害時、市が二次避難所の要請をした場合には、介護介助が必要な方を一時的に受け入れてくださいます。まち歩き当日は、**けやき園から六中までの道**を2グループに分かれて確認しました。十一小に事前に行っていたいただいていた方との情報も合わせ、**安全な場所や危険な場所、消火器の位置等**を確認しました。**裏面に記載！**

(参加者20名)

当日の様子がJCOM「ジモト応援！つながるNews」でとり上げられました！次回の定例会でみんなで見ましょう♪



グループで情報をまとめて

気づいたことなど皆で共有しました

弥生のみなさま、こんにちは！
11月21日に行われた『住みよいまち弥生』防災まち歩きで持ち寄った情報を共有します♪

次回(12/19)

次回の定例会は、
・まち歩き振り返り
・来年、何する？

などを話しましょう。

住みまち弥生は
弥生とその周辺
に住んでいる方
みなさまの会
です。自治会に加入
されていない方
も大歓迎♪

田無警察署警備課の方がお見えになります。不審な電話がかかってきた等、ご相談やご質問のある方は、お気軽においでください。

次回の集い

令和3年
12月19日(日)10時～

多摩の里けやき園
地域交流スペース
(弥生2-1-18)

メールアドレスつくりました！

sumimachiyayoi@gmail.com



↑メールをいただいた方には、住みまち弥生のご案内をメールでもお送りします。

ガス武蔵野苑

広い場所は、家の中から
危険だと感じた時に立ち寄り
やすいだけでなく、近所の方たちと
情報を共有する場として
有効なのだそうである。

●大沼グラウンド

小平第十一小学校

●アケマン

丸井総合
グラウンド

六中学校

公立昭和病院

- ①広い空間
- ②駐車場
- ③公園・広場
- ④消火器
- ⑤公衆電話
- ⑥狭い道
- ⑦行き止まり
- ⑧危険な道

丸井グラウンドに
入れ扉があります。
高川ブロック。南京錠いかわり
前れていた場合、
東経道が急な階段を
手わたす中
この道は危険です。

『住みよいまち弥生』 ニュースレター

第5号

令和4年2月5日発行
代表世話人 山口信夫
042(458)0875

住みよいまち弥生 1周年！

「住みよいまち弥生」は、
弥生とその近隣にお住まいの方
みんなで、弥生全体を、暮らし
やすいまちにしていきたいと思います
という主旨の会です。
自治会の加入の有無を問わず、
どなたでも参加大歓迎です♪

前回(12/19)

田無警察署警備課の方がお見えになりました。2020年度、西東京・東久留米は、都内97警察署中詐欺被害ワースト1！留守番電話にしておくなどの工夫や、そのような電話があったら被害がなくても田無警察署(042-467-0110)まで連絡して欲しいお話などがありました(どの地域に電話が集中しているかのデータになる)。次年度、詳しく説明を受ける機会を設けましょう。

防災まち歩きも、前回の改善点を活かして引き続き。2年開催できていない秋まつりもできるといいですね♪ (参加者17名)

次回(2/20)

2021年度最後の定例会です。今年度は地域協働助成金を活用してこのニュースレターを印刷したり、まち歩きで必要なものを揃えたりしましたのでその報告と、来年度何をしていくか、というお話が中心です。もちろん、普段生活していて気がついたこと、困ったことなどありましたら、お気軽にお話しにきてください。3月6日(日)、氷川台自治会会長さんを迎えての講話会(裏面)申し込みも会場で受け付けます。

次回の集い

令和4年
2月20日(日)10時～
多摩の里 けやき園
地域交流スペース※
(弥生2-1-18)

メールアドレスつくりました！

sumimachiyayoi@gmail.com



↑メールをいただいた方には、
住みまち弥生のご案内を
メールでもお送りします。

※緊急事態宣言が出た場合には場所が変更になる可能性があります。ご不安な方はメールをくださるか、代表世話人(右上記載)までご連絡ください！

地域の安心・安全・つながりづくり をひろげるヒント（講話会）

氷川台自治会は、子どもから高齢者までの幅広い層が「つながる場」を提供し、空き家を農園として活用する地域活性化策などが評価され、平成30年11月「あしたのまち・くらしづくり活動賞」（最高賞の内閣総理大臣賞）を受賞されました。どのようにして主体的な組織をつくり、活動の継続と発展をすすめてきたのか、たくさんの活動のヒントをお話いただきます。



恒例の「もちつき」大会に集う老若男女。トン汁やポップコーンもふるまわれ、参加者は200人を超える



空き家農園での「じゃがいも掘り」



子育てサロンでの紙芝居



障がい者とともに沿道を彩る花植え

日時

令和4年3月6日(日)午前10時～11時半(受付:9時半から)

場所

多摩の里 けやき園 地域交流スペース(弥生2-1-18) (※1)及び
ZOOM インターネットミーティング(※2)

※1 会場参加は「弥生地区にお住まいの方」を優先とさせていただきます。

※2 インターネットでのリモートセミナーです。参加にはネット環境のあるスマートフォンやタブレット、パソコンが必要です。またメールとホームページが利用できれば参加可能です。

講師

氷川台自治会 会長 林 俊一 氏

定員

30名 申込締切:3/2(水)【申込フォーム・メール・電話・FAX】

参加費

無料 持ち物 マスク着用・上履き(スリッパ等)

※ 新型コロナウイルス感染症の流行状況により、やむを得ず延期・中止にさせていただくことがあります。

申し込み
連絡先

東久留米市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター
東久留米市滝山4-3-14 わくわく健康プラザ2階 ボランティアセンター
電話 042-475-0739 FAX 042-476-4545
Mail csw@higashikurume-shakyo.or.jp



専用申込フォーム

『住みよいまち弥生』 ニュースレター

第6号

令和4年3月31日発行

代表 山口信夫

042(458)0875

春ですね～
講話会も盛況でした！

定例会(2/20) 氷川台自治会長講話 (3/6)

定例会(臨時総会)

これまで話し合ってきたことを正式に決定しました。これからも、**困ったことがあったときには誰もが手を挙げられる、住みよいまち**にしていけるとよいですね！

(参加者12名)

氷川台自治会 林会長を迎えての 活動事例講話

要援護者支援の避難訓練から花寄せ、認知症カフェその他、様々な活動のお話を伺うことができました。「花の隣りをゆっくり歩く人がいても、年をとってゆっくりになったんじゃない。花を見ながらゆっくり歩いているんだと思えるように」との言葉が印象的でした。(参加者16名：会場9名オンライン7名)

→写真裏面。

「住みよいまち弥生」は、弥生とその近隣にお住まいの方みんなで、弥生全体を暮らしやすいまちにしていきたいと思いますという主旨の会です。自治会の加入の有無を問わず、どなたでも参加大歓迎です♪

次回定例会(4/17)

令和4(2022)年度最初の定例会です。季節がよくなったら**第2回防災まち歩き**をしよう！ということで、**開催日程や内容決め**、その他のイベントの年間計画を立てましょう。次回は**大人も子どもも楽しめるもの**にしたいねと盛り上がっています。アイデアをいただける方ぜひご参加ください♪
また、昨年度の活動報告も少し。**特殊詐欺の防止講話**もいつにしましょう。**本年度も気軽に楽しくやりましょう！**よろしく願い申し上げます。

次回の集い

令和4年
4月17日(日)10時～
多摩の里 けやき園
地域交流スペース※
(弥生2-1-18)

メールアドレスつくりました！

sumimachiyayoi@gmail.com



↑メールをいただけた方には、住みまち弥生のご案内をメールでもお送りします。

※緊急事態宣言が出た場合には場所が変更になる可能性があります。ご不安な方はメールをくださるか、代表(右上記載)までご連絡ください！

『住みよいまち弥生』 令和3年度ありがとうございました

4月21日
記念すべ
きニュー
スレター
第1号！

11月22日
まち歩きの様
子がJCOMさ
んのつながる
ニュースでと
り上げられま
した！

11月21日
第一回防災
まち歩きで
作成した
マップ

12月15日
まち歩きの様
子がタウ
ン通信に掲
載されまし
た！

3月6日
氷川台自治会
会長講話「地
域の安心・安
全・つながり
づくりを広げ
るヒント」



講話は東久留米社協
YouTubeチャンネル
で公開しています。
是非ご覧ください♪



【資料】

住みよいまち弥生憲章

「住みよいまち弥生」(住みまち弥生)では、生活上の困りごとや気になることなどを共有し、生活課題の解決に向けて話し合い、相互に協力して無理なくできることに取り組み、顔の見える関係をひろげます。

わたくしたちは、誰もが安心して自分らしく暮らし続けられるまちづくりをすすめるため、ここに憲章を定めます。

- 一. 様々な差別や偏見を解消し、子ども、障がい者、高齢者、外国人など、誰もが孤立せずに安心・安全に暮らすことができる地域をつくります。
- 一. 困ったときに「助けて」と言える人と人との関わり合い、心が通い合うつながりを広げます。
- 一. 誰もができることで役割をもち、支え合いながら、いつまでも自分らしく活躍できる場づくりをすすめます。
- 一. 関係機関や行政等と協働して生活課題の解決を図ります。
- 一. 持続可能なまちづくりをすすめ、いつまでも夢や希望がもてる地域を次の世代に引き継ぎます。
- 一. みんなで助け合い、楽しみながら地域づくりに取り組みます。

令和4年2月20日 制定

令和4年度 住みよいまち弥生 役員名簿

※役員区分ごとに五十音順

No.	区分	氏名	所属自治会
1	代表	山口 信夫	東久留米弥生
2	副代表	加藤 京子	弥生台
3	書記	瀧田 寿美恵	弥生台
4	会計	沖原 寧子	
5	世話人	石川 勝一	
6	世話人	喜村 秀子	弥生台
7	世話人	齋須 照夫	東久留米弥生
8	世話人	佐々木 智恵子	弥生台
9	世話人	杉本 博嗣	東久留米弥生

作成日: 令和4年2月

住みよいまち弥生 会則

(名称)

第1条 この会は、住みよいまち弥生(通称:「住みまち弥生」、以下「本会」という。)と称する。

(目的)

第2条 本会は、弥生地区及び近隣住民の生活上の困りごと(以下「生活課題」という。))を共有し、生活課題の解決に向けて話し合い、皆で協力しながら無理なくできることに取り組み、顔の見える関係をひろげ、誰もが住みよいまちづくりをすすめることを目的とし、令和3年4月18日設立する。

(活動の内容)

第3条 本会は、第2条で掲げた目的達成のために、定期的に集まりを持ち、次の活動を行う。

- (1) 生活課題に関することの共有、解決に向けた話し合い
- (2) 住みよいまちづくりをすすめる活動
- (3) 高齢者、障がい者等の避難行動要支援者に対する支援・協力など、地域防災に関すること。
- (4) その他、本会の目的達成に必要と認められること。

(会の所在地と主な活動場所)

第4条 本会の所在地は代表宅に置き、主な活動場所は弥生地区とする。

(会員)

第5条 会員は、原則として東久留米市弥生もしくは近隣在住で、本会の目的及び本会憲章の趣旨に賛同し、活動または協力できる者とする。

(会員の入退会)

第6条 特別な事情を除き、参加を希望する者を常時受け入れることとする。

2 会員として入会をしようとする者は、入会申込書を代表に提出する。

3 会員は、退会届を代表に提出し、任意に退会することができる。なお、次の各号のいずれかに該当するときは、退会したものとみなす。

- (1) 本人が死亡したとき。
- (2) 1年以上連絡がとれないとき。

(会員の除名)

第7条 会員が次の各号のいずれかに該当する場合、総会に出席した4分の3以上の賛成により、これを除名することができる。

- (1) 法律に反したとき。
- (2) 公序良俗に反する行為を行ったとき。
- (3) 第三者に損害、不利益を与えたとき。
- (4) その他、除名相当の理由があったとき。

(会費)

第8条 本会の会費は、活動に応じて必要な費用を徴収することができる。

(役員)

第9条 本会に、次の役員を置く。なお、役員の任期は1年とし、再任を妨げない。

- (1) 代表 1人
- (2) 副代表 1人
- (3) 書記 1人
- (4) 会計 1人
- (5) 世話人 若干名

2 前項に定める役員は、総会の議決によって選任する。なお、役員は複数の役割を兼務することができる。

(役員の仕事)

第10条 代表は、本会を代表し、その会務を統括する。

- 2 副代表は、代表を補佐し、これに事故あるときまたは欠席のときは、その職務を代行する。
- 3 世話人は、会の運営を審議・決定する。
- 4 会計は、会の会計事務を処理する。
- 5 書記は、定例会の議事録や諸活動の実施報告を作成する。

(総会)

第11条 総会は、年1回開催する。ただし、代表が必要と認めるときは臨時総会を開催することができる。なお、これら総会は代表が招集する。

2 総会は、会員で構成し、次の事項を議決する。

- (1) 会員の除名に関する事。
- (2) 役員の選任及び解任に関する事。
- (3) 事業計画及び事業報告に関する事。
- (4) 予算及び会計報告を含む決算に関する事。
- (5) 会則等の制定改廃に関する事。
- (6) その他、会の運営に関する重要事項

3 総会は、会員の総数の過半数の出席をもって成立する。ただし、あらかじめ書面により欠席の理由及び総会に付議される事項についての意思を表示した者は、出席者とみなす。

4 総会の議決は、出席した会員の過半数をもって行い、可否同数のときは、代表の決するところによる。

(定例会の開催)

第12条 定例会は、2ヵ月毎に1回開催する。ただし、代表が必要と認めるときは臨時定例会を開催することができる。なお、これら定例会は代表が招集する。

2 定例会は、第9条で定める役員をもって構成し、次の事項を議決する。

- (1) 会の運営の基本的事項に関すること。
- (2) 総会に付すべきこと。
- (3) 総会において議決された事項の執行に関すること。
- (4) その他、総会の議決を要しない会務の執行に関すること。

(資産の管理)

第13条 この会の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。なお、資産は定例会の定める方法により、代表が管理する。

- (1) 会費
- (2) 寄附金品
- (3) 資産から生じる収入
- (4) 活動に伴う収入
- (5) その他の収入

2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れて保管する。

(会計年度)

第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(経費)

第15条 本会の運営に関する経費は、会費、参加費、寄附金及びその他の収入をあてる。

(活動内容の公開)

第16条 本会の活動は、地域に開かれた集いの場として、活動内容を広く公開することとする。

(禁止事項)

第17条 本会の活動において、次の事項をおこなってはならない。

- (1) 法律に反する行為
- (2) 公序良俗に反する行為
- (3) 第三者に損害、不利益を与える行為
- (4) その他本会に損害、不利益を与える行為
- (5) 参加者名簿を本会の目的外に不正に使用する行為

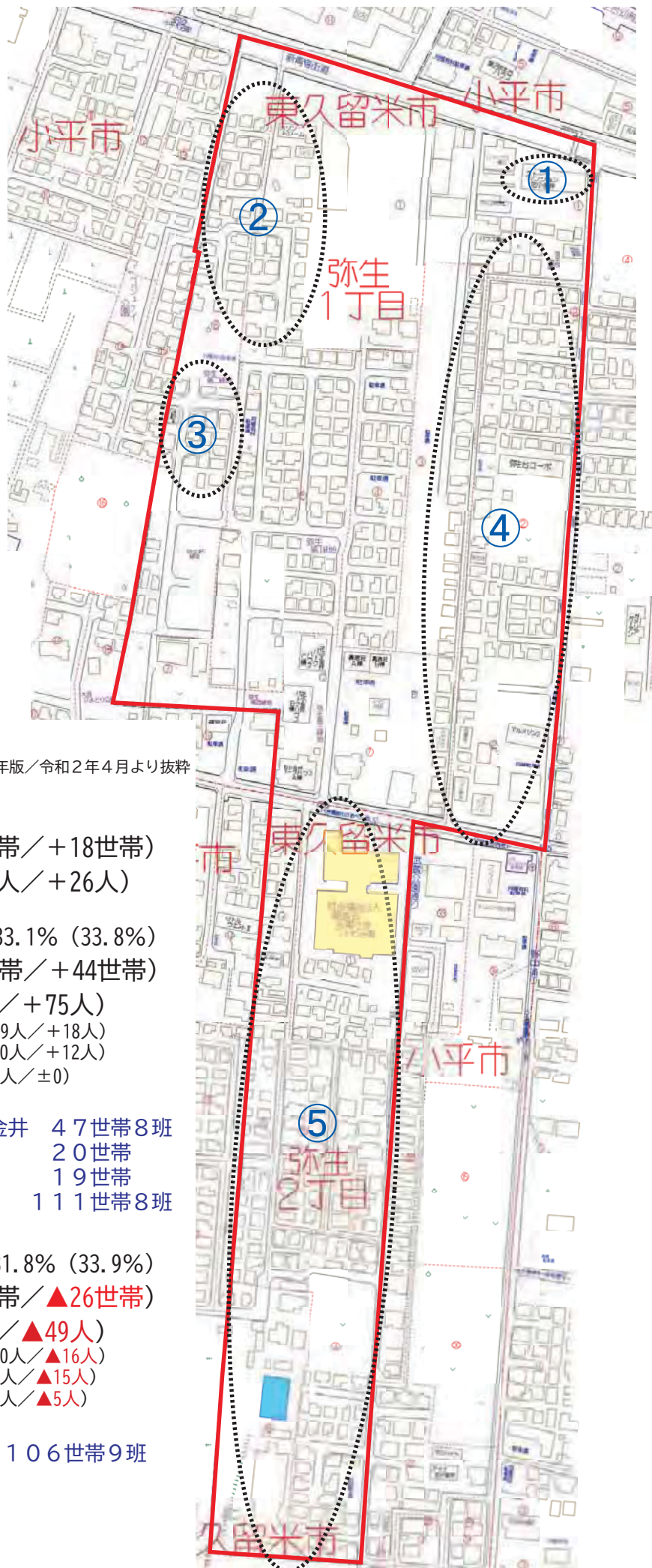
(その他)

第18条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

付 則

この会則は、令和3年4月18日から施行する。

令和4年2月20日改正



■ 弥生地区 統計 東久留米 令和元年版／令和2年4月より抜粋
 ※カッコ内は平成30年度の数值

655世帯 (637世帯／+18世帯)
 1,437人 (1,411人／+26人)

【弥生一丁目】 高齢化率 33.1% (33.8%)
 480世帯 (436世帯／+44世帯)
 1,047人 (972人／+75人)
 ・65歳以上 347人 (329人／+18人)
 ・75歳以上 172人 (160人／+12人)
 ・90歳以上 12人 (12人／±0)

■ 自治会

- ① ストークマンション花小金井 47世帯8班
- ② 東久留米弥生 20世帯
- ③ 新弥生 19世帯
- ④ 弥生台 111世帯8班

【弥生二丁目】 高齢化率 31.8% (33.9%)
 175世帯 (201世帯／▲26世帯)
 390人 (439人／▲49人)
 ・65歳以上 124人 (140人／▲16人)
 ・75歳以上 76人 (91人／▲15人)
 ・90歳以上 20人 (25人／▲5人)

■ 自治会

- ⑤ 柳 106世帯9班

